

令和7年度 北部地区子ども支援net 事後アンケート

令和7年10月24日（金）

龍郷町役場 2階会議室

参加者： 44 名

回答者数： 32 / 38 名 （講師、事務局除く）

回答率： 84%

1. ミニ研修について「発達支援における保護者との連携」

【研修全般について】

- ・ 専門的な話が聞けてよかった。
- ・ 研修を聞き、知識理解が深められたのと同時に勇気づけられた。
- ・ 子どもの発達についての研修が多い中、支援者側の視点という内容で自分を振り返ることができよかった。
- ・ 日々の支援の中で勉強になる言葉がたくさんあり、支援の場面を思い出すことがたくさんあった。
- ・ 愛着の話がとても参考になった。次回はもっと詳しく聞ける機会があるとありがたい。
- ・ 愛着に課題のある中学生がおり、様々な取り組みをしているが不適切な行動がある。中学生でも愛着の再形成はできるのか、もっと知りたい。
- ・ 自分の価値観で見るのではなく、それぞれが何に困っているのか、一緒に考える姿勢が大切だということを知った。

【保護者支援や関わり方について】

- ・ わかりやすい内容だった。保護者が周りに相談しやすい環境をつくっていかれたらと思った。
- ・ 親（保護者）との関わり方・信頼関係の形成の仕方を学ぶ＆見直すよい機会となった。
- ・ 保護者の思いなど、感心させられるものが多かった。
- ・ 保護者支援について、自分のものさしで測らないことを意識しようと思った。
- ・ 保護者への対応で、なかなか療育につながらないことも多く、もう一度自分自身の対応を見つめ直そうと思った。伝え方も勉強になった。
- ・ つい子どもの支援のために保護者を批判的な視点で捉えてしまうこともあるが、保護者の気持ちを受け止めることが第一歩だと改めて感じた。
- ・ 家庭と子どもへの支援について、関わり方のポイントなどを詳しくお話いただき、勉強になった。
- ・ 就学について家族と話をする時にどう伝えたらよいのか困ることが多かったが、高橋先生の話の中に大事にした方がよいことがたくさん入っていて、参考になった。
- ・ 初回面談で、保護者の想いを受け止めることが必要。日頃何気なく発言してしまっていないか、改めて考えようと思った。
- ・ 子どもを担当する相談支援専門員としては保護者との関わりが重要になるため、研修に参加することができ、よかった。

【キーワードやヒントについて】

- ・「親の価値観、支援者の価値観」という言葉がとても心に響いた。支援者の価値観も大切にしつつ、押しつけにならないようにしていきたい。
- ・「ものさし」について考えるよい機会となった。
- ・子どもや保護者と接する時には、「自分のものさしで測らない」大切さがよくわかった。
- ・「自分のものさしで測らない」「保護者と一緒に考えていく」日頃から心がけていきたいと思う。
- ・「気持ちのラベリング」ができるようになると、相手の事を考える力がつくことがわかった。
- ・「愛着」について改めて深めることができた。
- ・保護者の支援は「もともと難しい」「めげない」という言葉に救われました。
- ・愛着は養育者も関係が築けるということがとても印象に残った。
- ・「愛着」の教え方を、もう一度改めていきたい。

【気づきや今後の支援について】

- ・自分の価値観で決めつけてしまうことがあるなと考えさせられた。背景をわかっていても、「大人でしょ」と思ってしまう自分がいた。
- ・「自分のものさしで測らない」という姿勢は、はっとさせられた。家庭に寄り添おうという気持ちではあったが、どこかで自分のものさしで見ていたのでは、と。今後はしっかりと家庭のはなしを受け止める姿勢を意識していきたい。
- ・支援者としてはっとする気づきがたくさんの研修だった。事業所に持ち帰り支援者として大事なことを共有し、安心して支援を楽しめたらよいと感じた。
- ・子どもや保護者のニーズ、願いも多様化しており、支援者に求められる資質・能力が多岐に渡る。子どもに関わる愛ある大人が多くなるとよいと感じた。

2.グループワークについて

【良かった点】

- ・多職種のメンバーで、たくさん意見を聞けて勉強になった。（7）
- ・普段、他機関の方々と話す機会があまりないため、色々な意見を聞くことができよかった。（4）
- ・多くの意見が聞けた。（4）
- ・多職種の様々な目線からの意見を聞くことができた。（2）
- ・顔を合わせて近隣の諸機関と話ができて、貴重な時間となった。
- ・他グループの発表でも同じ悩みが聞かれ、子どもたちにとってよい支援ができるようにしていけたらと思った。
- ・現場の困り感を直接聞くことができて、明日からの支援に役立てることができそう。
- ・今後連携を図っていくためのきっかけ作りができた。

【共有したこと】

- ・様々な立場の方と日頃の悩みや現状・課題について共有することができた。(4)
- ・困りごとを共有して、同じことで悩みながら支援していることがわかった。(2)
- ・同じ困り感があって、自分の支援がこれでよかったのか？と思っていたことも、「これでよかった」と確認することができた。このような場はとてもありがたい。
- ・療育のつなぎ、就学について保育所・療育・保健師と共有できてよかった。
- ・他グループの発表でも、様々な視点で意見が出されており、よかった。
- ・課題の出た意見に対し相談機関などの情報共有もでき、よかったと思う。

【気づきや学びについて】

- ・連携の必要性を感じた。
- ・情報や知識を共有することの大切さを改めて感じた。
- ・多職種連携についての好事例などを参考に、すぐに取り組みそうなことから大事にしていきたい。
- ・一つのグループに多職種の方々が入っていて、様々な角度からの思い・意見を知ることができた。
- ・それぞれの機関によって、保護者へのアプローチ方法や抱えている課題が異なることがわかった。
- ・各関係機関の話を伺うことで、自分たちには何が求められているのか、他機関の強みや特徴、限界は何か、知ることができた。
- ・多職種で意見交換ができたことで、様々な意見や考えを知ることができ、今後も色々な方とつながり、相談したり助言をもらうことも大事だと思った。

【編成、時間設定、進行等について】

- ・まだまだ聞きたいことがたくさんあった。
- ・少人数のため意見交換しやすかった。

3.運営全般について

- ・よかったと思う。(6)
- ・今回の通りでよい。(2)
- ・日程・時間帯どちらもよいと思う。
- ・月末、集まりやすい場所（駐車場問題など）時間配分など、ちょうどよいと思った。
- ・スムーズな運営だったと思う。
- ・申込方法も簡易でありがたかった。
- ・これからも定期的に意見交換していきたい。
- ・高橋先生のお話が後半足早になったため、もう少し時間をとってゆっくり聞けたらよかった。
- ・県の特別支援教育に関する講演会と重なった。担当者がそちらに参加したため町内の行事等は行政や教育委員会と調整できたらよいと思う。（しかし、そのおかげで今回参加することができ、よい機会になった）
- ・日程について、この時期は忙しい。

2.「困り感のある子どもへの支援」に関する課題や知りたい情報について

①.あなたが感じている、地域の課題等がありますか。

- ・療育事業所・保育所・幼稚園・こども園・学童との情報共有の場をもっと増やしてほしい。（2）
- ・各園との連携に差を感じる。連携が取りづらい園もある。
- ・就学についてどのように進めていくか、療育・保育所・保護者・相談支援専門員、みんなで話し合える場があると進めやすい。療育先によって進め方が違うため、難しさを感じる。
- ・行政・相談支援専門員・事業所のつながり
- ・北部（赤木名・笠利方面）に療育を受けられる施設がない。送迎を保護者ができない場合どうすればよいか。
- ・核家族の方が休日に使えるサービス（一時預かりなど）が少ない。
- ・遊びに行ける（気軽に）場の提供。室内での遊び場等。
- ・子育て支援の窓口の一元化はできないか。
- ・人材不足
- ・児童を担当できる相談支援専門員が少ない。
- ・マンパワー不足により、発達支援を十分に行えていない面も見られる。
- ・保護者へのアプローチ方法や相談先についてなどの情報がほしい。
- ・保護者の相談先への認識不足。
- ・保護者へ療育の必要性などの理解を促すのが難しい。
- ・療育を利用することに抵抗のある保護者も多いため、まずは療育について知ってもらうことも良いのでは。
- ・教育・保育・療育事業所と行政・専門機関等が近い良さがある一方、顔が見えるからこそ相談しづらい、知られたくないという方も一定数おり、支援につなげることが難しい場合がある。
- ・母親がキーパーソンとなり一人で頑張っているケースがある。父親や祖父母の理解など（北部・南部はより地域性が出てくる）

②.今後開催してほしい、研修や知りたい情報などがありますか。

- ・今回のような各関係機関が集まる研修にはまた参加したい。
- ・来年度もこのような研修があれば良いと思う。まだ参加したことがない方がさらに参加できればよい。
- ・もっと回数があってもよいと思う。
- ・支援者向けの、子ども支援に関する研修会
- ・愛着障害について
- ・発達障害について
- ・保護者支援について学ぶ機会
- ・保護者支援（気になる児童に対し、保護者の気づきを促す働きかけの方法、声かけ等のスキル）
- ・それぞれの場で療育、保育をしているが、その支援を共有する機会があるとよい
- ・他の機関がどのような会や研修を行っているか知りたい。
- ・教育機関での個別計画の視点や振り返りの方法などどのように活用されており、どのような変化や効果があったか聞いてみたい。
- ・関わった子たちのその後を見届ける方法。

3.その他（ご意見、ご感想など自由にお書きください。）

- ・ 良い時間となった。ありがとうございました。また参加したい。
- ・ 学童の話も出ていたが、私もこのような場に学童の方も来ていただけるとありがたいと思う。
- ・ 学童との情報交換はぜひしたい。学童や学校裁量にするのではなく、方向性を出してくれると動きやすい。
- ・ コロナの期間はオンラインが多かったが、対面でグループワークを行うことで、より職種の垣根を超えた話し合いができたと思った。
- ・ 初めて北部に参加したが、保育園、療育、保健師、事業所の連携のすごさを感じた。
- ・ 保育所等訪問支援の認知度の低さを感じた。せっかくの機会のため皆さんにお伝えすることができた。
- ・ 今後モニタリングのタイミングで現場の先生にも入っていただくことも大事だと感じた。

【あなたのことをお聞かせください】

○職 種

☐ 学校等（小、中、高、他）	5 名	☐ 保育機関（幼、保、認定こども園）	3 名
☐ 療育機関（児発、放デイ・児発C）	8 名	☐ 学童	1 名
☐ 相談支援事業所	7 名	☐ 医療機関	2 名
☐ 行政機関（市町村）	4 名	☐ 行政機関（県）	1 名
☐ その他	0 名	☐ 未回答	1 名

○職 名

事業所【管理/児発管（2）児童指導員（2）保育士（2）看護師（1）相談支援専門員（5）相談/看護師（1）】
学校【教頭（1）教諭（4）】、学童【補助員（1）】
幼稚園/保育所【所長（1）、保育士（1）】、医療関係【精神保健福祉士（1）臨床心理士（1）】
行政【市町村：保健師（3）、主査（1）、県：保健師 】
未回答（5）

経験年数

☐ 1～3年	9 名	☐ 4～6年	6 名	☐ 7～9年	5 名
☐ 10年以上	9 名	☐ 未回答	3 名		